

平成 23 年 度

仙 台 市 高 速 鉄 道 事 業 会 計
決 算 説 明 資 料

- 1 決 算 の 概 況
- 2 事 業 実 績 表
- 3 予 算 決 算 比 較 表
- 4 建 設 改 良 事 業 の 概 要
- 5 東 日 本 大 震 災 の 影 響 に つ い て

仙 台 市 交 通 局

1 決算の概況

本市の高速鉄道事業は、仙台都市圏の基幹交通機関として重要な役割を果たしており、本年度も引き続き、お客様の視点に立ったサービスの向上と安全運行の確保に努めてまいりました。

南北線につきましては、東日本大震災により大きな被害を受けた一部区間を当初運行休止としたものの、臨時シャトルバスを運行し、市民の移動手段の確保に努めるとともに、一日も早い復旧に向けて駅舎建物や高架橋等の復旧工事に取り組み、平成 23 年 4 月 29 日には全線で通常ダイヤによる運行再開を果たすことができました。

また、東西線の結節に伴う南北線仙台駅改良工事として、システム機器室の移設や昇降機設備の新設・改修工事に着手したほか、安全性や信頼性の維持・向上及びバリアフリー化の一環として、引き続き防災監視設備の改修や車両改修にあわせた車椅子スペースの設置などを実施いたしました。利便性向上のための取り組みとしては、IC 乗車券導入に向けたシステム構築に着手いたしました。

経営面といたしましては、公的資金補償金免除線上償還制度を活用し、後年度の企業債利息の負担軽減を図るなど、費用の節減に取り組みました。

一方、東西線につきましては、東日本大震災の影響により工事の一時中断を余儀なくされましたが、資機材や作業員の確保に一定の目途がついた工区から順次再開し、トンネルの掘削や構築工事、出入口工事を引き続き進めたほか、レール工事等軌道資材の製造・購入を行うなど、土木工事を全線にわたり安全かつ確実に実施してまいりました。また、土木工事に続く建築・設備関係については、車庫や変電所に関する工事に着手したほか、運営体制の検討や地下鉄運転士の養成に取り組むなど、平成 27 年度の開業に向けて事業を着実に進めてまいりました。

このような状況のなか、年度当初は一部区間の運休により大きく落ち込んだものの、7 月以降は震災前の状況に持ち直し、結果として乗客数は 54,316 千人（1 日平均 148,404 人）と前年度に比較して 132 千人、0.2 パーセントの減、乗車料収入（消費税及び地方消費税抜き）は 99 億 1 千 3 百万円（敬老乗車証負担金及びふれあい乗車証負担金を含む。）と前年度に比較して 8 千 5 百万円、0.8 パーセントの減となりました。本年度における収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）につきましては、特別損失の計上等により前年度に比較して 2 百万円減の、24 億 7 千 8 百万円の純利益となりました。

しかしながら、当年度未処理欠損金 1,017 億 2 千 7 百万円を翌年度に繰り越したほか、資金不足額の軽減のため、資本費平準化債 51 億 9 百万円を借り入れるなど、極めて厳しい経営状況となっており、引き続き、効率的な経営と、安全で快適な輸送サービスの提供に努めてまいります。

2 事業実績表

区 分	年 度	単 位	平成23年度 (C)	平成22年度 (D)	対前年度比較	
					増減(△減) (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業 キ ロ		km	14.8	14.8	0.0	100.0
在 籍 車 両		両	84	84	0	100.0
年間走行キロメートル		km	6,702,025	6,725,883	△ 23,858	99.6
乗 客 数	定 期 外 (A)	人	32,169,726	31,920,711	249,015	100.8
	定 期	人	22,146,180	22,527,774	△ 381,594	98.3
	計 (B)	人	54,315,906	54,448,485	△ 132,579	99.8
	一日当り	人	148,404	150,410	△ 2,006	98.7
乗車料収入	定 期 外	千円	6,946,243	6,896,629	49,614	100.7
	定 期	千円	2,967,063	3,101,147	△ 134,084	95.7
	計	千円	9,913,306	9,997,776	△ 84,470	99.2
	一日当り	千円	27,086	27,618	△ 532	98.1
職 員 数 (管 理 者 除 く)		人	426	423	3	100.7
輸送人員定期外比率 (A)/(B)		%	59.2	58.6	0.6	—

(注) 1 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。

2 平成22年度は、東日本大震災により、年間362日で算定している。

3 予算決算比較表

(収益の収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成 23 年 度 予 算 額					平成23年度 決 算 額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額 (△ 減)	繰越額	合 計 (A)		
高速鉄道事業収益	15,255,968	203,524	0	0	15,459,492	15,510,584	51,092
営業収益	11,620,584	△ 378,968	0	0	11,241,616	11,291,933	50,317
運輸収益	10,659,145	△ 351,722	0	0	10,307,423	10,375,865	68,442
運輸雑収益	961,439	△ 27,246	0	0	934,193	916,068	△ 18,125
営業外収益	3,635,374	582,492	0	0	4,217,866	4,218,651	785
他会計補助金	3,520,452	482,492	0	0	4,002,944	3,901,783	△ 101,161
消費税及び地方消費税還付金	100,000	100,000	0	0	200,000	269,651	69,651
雑収益	14,922	0	0	0	14,922	45,805	30,883
受取利息及び配当金	0	0	0	0	0	1,412	1,412
特別利益	10	0	0	0	10	0	△ 10
高速鉄道事業費用	12,490,825	241,720	0	292,304	13,024,849	12,387,020	△ 637,829
営業費用	10,196,523	266,735	0	292,304	10,755,562	10,246,710	△ 508,852
人件費	3,042,819	0	0	0	3,042,819	2,886,872	△ 155,947
経費	3,193,624	266,735	0	292,304	3,752,663	3,475,661	△ 277,002
減価償却費	3,960,080	0	0	0	3,960,080	3,884,177	△ 75,903
営業外費用	2,244,292	△ 85,000	0	0	2,159,292	2,080,362	△ 78,930
支払利息及び企業債取扱諸費	2,244,292	△ 85,000	△ 30	0	2,159,262	2,080,332	△ 78,930
雑支出	0	0	30	0	30	30	0
特別損失	10	59,985	0	0	59,995	59,948	△ 47
予備費	50,000	0	0	0	50,000	0	△ 50,000
当年度純損益(税込み)	2,765,143	△ 38,196	-	△292,304	2,434,643	3,123,564	688,921
当年度純損益(税抜き)	2,034,251	△1,079,682	-	△278,385	676,184	2,478,272	1,802,088
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△104,205,227	0	-	0	△104,205,227	△104,205,227	0
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△102,170,976	△1,079,682	-	△278,385	△103,529,043	△101,726,955	1,802,088

(注1) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越利益剰余金及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

(注2) 営業費用中の災害復旧事業に係る経費426,499千円の財源に充てるため、企業債(災害復旧事業債)76,000千円を借り入れた。

(資本的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成23年度予算額					平成23年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)	翌年度 繰越額
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	繰越額	合計 (A)			
高速鉄道事業資本的収入	44,638,720	6,154	0	46,308,696	90,953,570	36,503,086	△54,450,484	52,933,501
企業債	12,652,000	△41,000	0	9,192,000	21,803,000	7,477,000	△14,326,000	13,641,000
特例債	790,000	0	0	0	790,000	790,000	0	0
平準化債	5,034,000	75,000	0	0	5,109,000	5,109,000	0	0
出資金	7,069,000	△15,000	0	9,970,800	17,024,800	6,222,800	△10,802,000	10,510,000
他会計補助金	9,099,083	△12,846	0	14,172,023	23,258,260	8,075,147	△15,183,113	14,928,183
国庫補助金	8,150,000	0	0	12,754,821	20,904,821	7,259,819	△13,645,002	13,435,364
他会計長期借入金	677,190	0	0	0	677,190	677,189	△1	0
その他資本的収入	1,167,447	0	0	219,052	1,386,499	892,131	△494,368	418,954
高速鉄道事業資本的支出	52,226,950	△225,648	0	50,080,964	102,082,266	47,575,984	△54,506,282	52,980,064
南北線建設改良費	1,543,826	△68,648	0	203,969	1,679,147	1,457,383	△221,764	101,628
東西線建設費	34,996,301	0	0	49,876,995	84,873,296	30,618,941	△54,254,355	52,878,436
企業債償還金	15,656,713	△157,000	0	0	15,499,713	15,499,660	△53	0
投資	100	0	0	0	100	0	△100	0
その他資本的支出	10	0	0	0	10	0	△10	0
予備費	30,000	0	0	0	30,000	0	△30,000	0
差 引	△7,588,230	231,802	0	△3,772,268	△11,128,696	△11,072,898	55,798	△46,563

補てん財源	4,440,054	△1,086,777	1	4,582,761	7,936,039	8,487,706	551,667	1,196,265
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	729,958	△64,580	0	1,092,146	1,757,524	644,375	△1,113,149	1,152,265
繰越工事資金	0	0	0	3,769,000	3,769,000	3,725,000	△44,000	44,000
損益勘定留保資金	4,106,129	57,485	1	0	4,163,615	4,070,343	△93,272	0
当年度純損益	2,034,251	△1,079,682	0	△278,385	676,184	2,478,272	1,802,088	0
前年度繰越金	△2,430,284	0	0	0	△2,430,284	△2,430,284	0	0
資本費負担緩和分企業債	472,000	△318,000	0	0	154,000	0	△154,000	0
災害復旧事業債 (営業費用充当分)	0	47,000	0	210,000	257,000	76,000	△181,000	0
震災減収対策企業債	0	351,000	0	0	351,000	0	△351,000	0
当年度末資金剰余額	△2,676,176	△774,975	1	1,020,493	△2,430,657	△2,509,192	△78,535	1,149,702

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源当年度純損益については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

○資金不足比率

(単位：千円、%)

資金不足額(※) (a)	事業規模(※) (b)	資金不足比率 (a)/(b)
0	10,790,314	-

※事業規模＝営業収益－受託工事収益 (消費税及び地方消費税抜き)

※資金不足額については、解消可能資金不足額25,470,495千円を控除した額である。

(参考) 資本的収支路線別予算決算比較表

(南北線)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成 23 年度 予 算 額					平成23年度 決 算 額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)-(A)	翌 年 度 繰 越 額
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額	繰越額	合 計 (A)			
高速鉄道事業資本的収入	9,657,718	6,154	0	64,000	9,727,872	9,513,525	△ 214,347	101,000
企業債	2,807,000	△ 41,000	0	24,000	2,790,000	2,628,000	△ 162,000	81,000
特例債	790,000	0	0	0	790,000	790,000	0	0
平準化債	5,034,000	75,000	0	0	5,109,000	5,109,000	0	0
出資金	306,000	△ 15,000	0	40,000	331,000	287,000	△ 44,000	20,000
他会計補助金	43,528	△ 12,846	0	0	30,682	15,868	△ 14,814	0
国庫補助金	0	0	0	0	0	6,468	6,468	0
他会計長期借入金	677,190	0	0	0	677,190	677,189	△ 1	0
その他資本的収入	0	0	0	0	0	0	0	0
高速鉄道事業資本的支出	17,198,786	△ 225,648	0	203,969	17,177,107	16,925,220	△ 251,887	101,628
南北線建設改良費	1,543,826	△ 68,648	0	203,969	1,679,147	1,457,383	△ 221,764	101,628
東西線建設費	0	0	0	0	0	0	0	0
企業債償還金	15,624,890	△ 157,000	0	0	15,467,890	15,467,837	△ 53	0
投資	60	0	0	0	60	0	△ 60	0
その他資本的支出	10	0	0	0	10	0	△ 10	0
予備費	30,000	0	0	0	30,000	0	△ 30,000	0
差 引	△ 7,541,068	231,802	0	△ 139,969	△ 7,449,235	△ 7,411,695	37,540	△ 628

(東西線)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成 23 年度 予 算 額					平成23年度 決 算 額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)-(A)	翌 年 度 繰 越 額
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額	繰越額	合 計 (A)			
高速鉄道事業資本的収入	34,981,002	0	0	46,244,696	81,225,698	26,989,561	△ 54,236,137	52,832,501
企業債	9,845,000	0	0	9,168,000	19,013,000	4,849,000	△ 14,164,000	13,560,000
特例債	0	0	0	0	0	0	0	0
平準化債	0	0	0	0	0	0	0	0
出資金	6,763,000	0	0	9,930,800	16,693,800	5,935,800	△ 10,758,000	10,490,000
他会計補助金	9,055,555	0	0	14,172,023	23,227,578	8,059,279	△ 15,168,299	14,928,183
国庫補助金	8,150,000	0	0	12,754,821	20,904,821	7,253,351	△ 13,651,470	13,435,364
他会計長期借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
その他資本的収入	1,167,447	0	0	219,052	1,386,499	892,131	△ 494,368	418,954
高速鉄道事業資本的支出	35,028,164	0	0	49,876,995	84,905,159	30,650,764	△ 54,254,395	52,878,436
南北線建設改良費	0	0	0	0	0	0	0	0
東西線建設費	34,996,301	0	0	49,876,995	84,873,296	30,618,941	△ 54,254,355	52,878,436
企業債償還金	31,823	0	0	0	31,823	31,823	0	0
投資	40	0	0	0	40	0	△ 40	0
その他資本的支出	0	0	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0
差 引	△ 47,162	0	0	△ 3,632,299	△ 3,679,461	△ 3,661,203	18,258	△ 45,935

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。なお、予備費は、便宜的に南北線に計上している。

4 建設改良事業の概要

(単位：千円)

科 目	平成23年度 決 算 額	主 た る 事 業
南北線建設改良費	1,457,383	
建 物	258,228	勾当台公園駅出入口内壁等改良工事
線 路 設 備	65,001	分岐器更新
電 路 設 備	320,773	自動列車制御装置更新
車 両	731,417	車両改修等
機 械 装 置	40,761	IC乗車券システム設計
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品	11,038	レール削正台車購入
建 設 諸 費	30,165	人件費
東西線建設費	30,618,941	
土 地	1,790,503	用地取得
建 物	222,406	建築・設備実施設計業務委託
線 路 設 備	22,023,282	地下鉄本体土木工事
電 路 設 備	8,766	仙台駅改良電気設備工事
機 械 装 置	57,544	仙台駅改良自動出改札設備等工事
地 上 権	59,640	区分地上権設定
施 設 利 用 権	3,009	変電所工事費負担金
仮 設 備 費	34,789	工事事務所賃借料
建 設 諸 費	1,046,100	東西線建設本部人件費
建 設 利 息	474,828	企業債利息
受 託 工 事 費	227,920	駐輪場建設に係る土木工事等受託工事
委 託 建 設 費	4,670,154	建設工事施行委託
計	32,076,324	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

5 東日本大震災の影響について

1. 主な復旧状況

【南北線】

日付	復旧状況
平成 23 年 4/ 1(金)	台原駅⇄旭ヶ丘駅⇄黒松駅間でシャトルバスを運行。
4/ 6(水)	工事箇所の一部の工事方法を見直したことから、工期を短縮できる見込みになったことから、全線での運行再開時期を、4/29に変更。
4/29(金)	全線で通常ダイヤによる運行再開。 ※シャトルバスの運行は4/28で終了。

(注 1)概算被害額 5 億円

(注 2)駅舎、橋りょう、車両基地、電気設備等の地下鉄関連施設の復旧は、概ね平成 23 年度中に終了。復旧費約 432,000 千円(財源:災害復旧に係る一般会計補助金約 354,000 千円,災害復旧事業債 76,000 千円)。その他震災対応費用として、シャトルバス運行経費約 90,000 千円(全額自己資金)

(注 3)復旧経費確保のため、予算の補正を実施。

・平成 23 年 4 月 4 日付専決補正(第 1 号補正):営業費用 55,000 千円,南北線建設改良費 750,000 千円の増額。

・平成 23 年第 3 回定例会(第 2 号補正):震災復旧関連以外の一部事業の執行停止による減額(営業費用約△73,000 千円,南北線建設改良費約△74,000 千円)。

復旧工事内容の変更に伴う予算額・科目の変更(営業費用約 297,000 千円の増額,南北線建設改良費約△744,000 千円の減額)。

【東西線】

日付	復旧状況
平成 23 年 3/11(金)	震災により、工事の一時中断を指示。工事現場の安全確認及び保全措置を開始。
6/ 1(水)	調査により、建設計画に影響のあるような大きな被害や地盤変動がなかったことが確認されたため、工事の再開を指示。
6/20(月)	資機材や作業員の確保に一定の目途がついた工区から、順次工事を再開(9/1で全工区再開)。

2. 平成 23 年度決算への影響

収益的収入においては、平成 23 年 4 月の一部区間運休等の影響により、乗車料収入(前年 4 月比約 375,000 千円の減)や広告料収入(前年度比約 44,000 千円の減)の減少が発生しました。

収益的支出においては、一部区間運休中のシャトルバス運行費用(約 90,000 千円)のほか、駅舎建物や橋りょう等の修繕費用(約 426,000 千円)が増加しました。

その他、平成 23 年度予算について、東日本大震災の影響及び工程調整に時間を要したこと等により、次のとおり翌年度へ繰越しています。

(単位:千円)

	地方公営企業法第26条第1項 による建設改良費の繰越額	地方公営企業法第26条第2項 ただし書による事故繰越額
南北線建設改良費	101,628	—
東西線建設費	30,606,900	22,271,536

3. 平成 24 年度以降の見通し

交通局庁舎の改修工事等に係る費用(約 46,000 千円)の増嵩を見込んでいます。

また、災害復旧事業債(76,000 千円)を起債したことから、企業債の償還及び利息の負担が増嵩することとなります。

東西線建設事業においては、震災による工事中断期間中の現場保安や緊急安全対策工事に係る経費等として 20 数億円程度を見込んでいます。工事の一時中断等があったものの、平成 27 年度の開業に向けて着実に事業を進めてまいります。

※金額はいずれも税込み